



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 株式会社住友倉庫

上場取引所 東大

コード番号 9303 URL <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>

代表者 (役職名) 社長 (氏名) 安部 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米満 聡

TEL 06-6581-1183

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	68,303	5.0	5,089	3.1	5,563	1.5	3,084	△6.2
23年3月期第2四半期	65,059	10.7	4,933	46.6	5,480	51.2	3,288	75.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △201百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,501百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.30	—
23年3月期第2四半期	18.43	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	226,311	113,027	47.3
23年3月期	228,377	112,941	47.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 107,066百万円 23年3月期 108,350百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	8.1	9,800	2.0	10,700	2.2	6,200	41.8	34.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) J-WeSco(株) 、 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、4ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、4ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	195,936,231 株	23年3月期	195,936,231 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	17,612,409 株	23年3月期	17,602,905 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	178,326,496 株	23年3月期2Q	178,394,810 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、生産や輸出は後半に持ち直しがみられるなど、景気は緩やかながらも回復傾向を示しました。

このような情勢のもとで、当社グループにおきましては、日本・アジア間をはじめとする国際輸送業務や国内における倉庫業務の取扱拡大に努めたほか、海外では物流品質の一層の向上を図ることにより新規業務の獲得に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、不動産事業は昨年末に一部テナントの退去があり減収となったものの、物流事業において国際輸送や港湾運送を中心に貨物の取扱が増加したことから、営業収益は683億3百万円と前年同期比5.0%の増収となりました。営業利益は増収効果に加えて減価償却費等の減少もあり、前年同期比3.1%増益の50億8千9百万円となりました。経常利益は、受取配当金の増加等がありましたが、持分法による投資利益が減少し、55億6千3百万円と前年同期比1.5%の増益にとどまりました。一方、四半期純利益は、特別損失として不動産事業用物件の設備更新工事に伴う固定資産除却損等を計上したことから30億8千4百万円と前年同期比6.2%の減益となりました。

また、当社は港湾運送事業の強化及び海外の物流ネットワークの充実を図るため、子会社のJ-WeSco株式会社を通じて米国の海運会社ウエストウッド SHIPPING LINES の全株式を取得することとし、本年9月30日(米国西海岸時間)に子会社化を完了しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①物流事業

倉庫収入は、貨物保管残高、入出庫の取扱いとも堅調に推移したことから、107億3千3百万円(前年同期比2.1%増)となりました。港湾運送収入は、コンテナ荷捌は中国をはじめとするアジア航路の取扱が増加し、一般荷捌も輸入貨物の取扱が回復したことから、197億4千7百万円(前年同期比7.5%増)となりました。国際輸送収入は、海外子会社が概ね順調であったほか、航空貨物の取扱が拡大し、一貫輸送も堅調に推移したことから、135億9千9百万円(前年同期比8.5%増)となりました。陸上運送ほか収入は、連結子会社におけるトラック輸送の取扱が増加したことなどから、195億9千5百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は636億7千5百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は42億2千3百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

## ②不動産事業

不動産事業では、昨年末に一部の賃貸物件においてテナントの退去があったことなどから、営業収益は48億3千5百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は27億5千4百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

(注) 1. 上記のセグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益2億6百万円(前年同期2億5百万円)を含んでおります。

2. 上記のセグメントの営業利益は、各セグメントに帰属しない全社費用等18億8千8百万円(前年同期18億5千万円)控除前の利益であります。

## セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	60,047百万円	63,675百万円	3,628百万円	6.0
(倉庫収入)	(10,511)	(10,733)	(222)	(2.1)
(港湾運送収入)	(18,366)	(19,747)	(1,380)	(7.5)
(国際輸送収入)	(12,534)	(13,599)	(1,065)	(8.5)
(陸上運送ほか収入)	(18,635)	(19,595)	(960)	(5.2)
不動産事業	5,217	4,835	△382	△7.3
(不動産事業収入)	(5,217)	(4,835)	(△382)	(△7.3)
計	65,264	68,510	3,245	5.0
セグメント間内部営業収益	△205	△206	△1	△0.6
純営業収益	65,059	68,303	3,244	5.0

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、資産合計は、子会社株式取得等に伴う「現金及び預金」の減少や株式相場下落に伴う「投資有価証券」の減少等により、前連結会計年度比0.9%減の2,263億1千1百万円となりました。また、負債合計は、その他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の減少等により、前連結会計年度比1.9%減の1,132億8千3百万円となりました。純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」は減少しましたが、四半期純利益の計上に伴う「利益剰余金」の増加、子会社の増資に伴う「少数株主持分」増加等により、前連結会計年度比0.1%増の1,130億2千7百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により53億5千1百万円の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出等により54億3千2百万円の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、子会社の増資に伴う少数株主からの払込による収入がある一方、配当金の支払や借入金の返済による支出等により3百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(1億円)を加えた全体で1千6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末の残高は、152億9千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、世界経済の減速が懸念されるなど先行きは不透明な状況にあります。当社グループを取り巻く事業環境も厳しくなるものと見込まれますが、国際輸送及び港湾運送における取扱いの回復など、当第2四半期連結累計期間の業績が予想を上回ったことから、平成23年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、本年9月30日付で子会社化しましたウエストウッド SHIPPING ラインズは第3四半期連結会計期間末から連結子会社になる予定ですが(連結損益計算書には同社の第4四半期会計期間の業績が反映される)、現時点では、これに伴う通期連結業績予想への影響は軽微であると見込んでおります。

## 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 132,000	百万円 9,300	百万円 10,200	百万円 5,900	円 銭 33.08
今回修正予想(B)	141,000	9,800	10,700	6,200	34.77
増減額(B-A)	9,000	500	500	300	—
増減率(%)	6.8	5.4	4.9	5.1	—
(ご参考) 前期実績(平成23年3月期)	130,377	9,610	10,465	4,372	24.51

(参考)

## 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 82,000	百万円 6,500	百万円 7,400	百万円 4,400	円 銭 24.67
今回修正予想(B)	85,000	6,900	7,800	4,500	25.23
増減額(B-A)	3,000	400	400	100	—
増減率(%)	3.7	6.2	5.4	2.3	—
(ご参考) 前期実績(平成23年3月期)	81,926	7,051	7,767	2,981	16.71

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

J-WeSco(株)は増資に伴い重要性が増したため、同社を当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算し、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,875	26,810
受取手形及び営業未収入金	16,619	17,098
有価証券	4	4
販売用不動産	112	109
仕掛品	27	42
繰延税金資産	988	855
その他	3,125	3,592
貸倒引当金	△100	△126
流動資産合計	49,652	48,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,558	58,745
機械装置及び運搬具(純額)	3,317	3,120
工具、器具及び備品(純額)	672	660
土地	46,222	46,219
建設仮勘定	733	2,592
その他(純額)	54	65
有形固定資産合計	110,558	111,403
無形固定資産		
のれん	587	535
借地権	4,330	4,331
ソフトウェア	1,798	1,686
その他	374	456
無形固定資産合計	7,090	7,010
投資その他の資産		
投資有価証券	53,343	51,833
長期貸付金	610	645
繰延税金資産	480	509
その他	7,094	6,887
貸倒引当金	△454	△365
投資その他の資産合計	61,075	59,511
固定資産合計	178,725	177,924
資産合計	228,377	226,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,051	9,314
短期借入金	8,925	8,745
未払法人税等	1,665	1,779
賞与引当金	1,380	1,538
その他	5,068	5,504
流動負債合計	26,091	26,882
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	59,492	59,112
繰延税金負債	12,856	10,443
退職給付引当金	3,219	3,113
役員退職慰労引当金	94	91
長期預り金	12,346	12,359
その他	835	781
固定負債合計	89,344	86,401
負債合計	115,436	113,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,822	21,822
資本剰余金	19,176	19,175
利益剰余金	65,850	68,004
自己株式	△9,150	△9,154
株主資本合計	97,698	99,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,548	8,967
為替換算調整勘定	△1,895	△1,750
その他の包括利益累計額合計	10,652	7,217
新株予約権	79	79
少数株主持分	4,511	5,882
純資産合計	112,941	113,027
負債純資産合計	228,377	226,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益		
倉庫収入	10,511	10,733
港湾運送収入	18,366	19,747
国際輸送収入	12,534	13,599
陸上運送収入	12,980	13,856
物流施設賃貸収入	2,597	2,473
不動産賃貸収入	4,884	4,582
その他	3,184	3,311
営業収益合計	65,059	68,303
営業原価		
作業諸費	37,288	40,212
人件費	8,279	8,494
賃借料	3,840	3,809
租税公課	914	987
減価償却費	2,765	2,635
その他	3,414	3,431
営業原価合計	56,503	59,571
営業総利益	8,555	8,732
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,827	1,875
賞与引当金繰入額	341	304
退職給付費用	114	111
のれん償却額	49	66
貸倒引当金繰入額	—	29
その他	1,287	1,256
販売費及び一般管理費合計	3,621	3,643
営業利益	4,933	5,089
営業外収益		
受取利息及び配当金	655	726
持分法による投資利益	277	186
その他	123	105
営業外収益合計	1,055	1,018
営業外費用		
支払利息	404	376
その他	104	167
営業外費用合計	509	544
経常利益	5,480	5,563

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	98	25
特別利益合計	98	25
特別損失		
固定資産除却損	49	172
投資有価証券評価損	157	133
貸倒引当金繰入額	—	148
災害による損失	—	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
特別損失合計	238	517
税金等調整前四半期純利益	5,340	5,071
法人税、住民税及び事業税	1,686	1,654
法人税等調整額	203	160
法人税等合計	1,890	1,815
少数株主損益調整前四半期純利益	3,450	3,256
少数株主利益	162	171
四半期純利益	3,288	3,084

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,450	3,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,609	△3,617
繰延ヘッジ損益	5	—
為替換算調整勘定	△334	162
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△2
その他の包括利益合計	△4,951	△3,457
四半期包括利益	△1,501	△201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,630	△350
少数株主に係る四半期包括利益	128	148

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,340	5,071
減価償却費	3,094	2,985
災害損失	—	61
のれん償却額	49	66
引当金の増減額(△は減少)	△382	△14
受取利息及び受取配当金	△655	△726
支払利息	404	376
持分法による投資損益(△は益)	△277	△186
有形固定資産除却損	49	172
投資有価証券評価損益(△は益)	157	133
売上債権の増減額(△は増加)	405	△369
仕入債務の増減額(△は減少)	△556	239
その他	△327	△1,122
小計	7,302	6,689
利息及び配当金の受取額	663	753
利息の支払額	△416	△370
災害損失の支払額	—	△179
法人税等の支払額	△3,101	△1,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,447	5,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,524	△10,761
定期預金の払戻による収入	9,069	12,878
有形固定資産の取得による支出	△555	△2,755
有形固定資産の売却による収入	57	44
無形固定資産の取得による支出	△169	△193
無形固定資産の売却による収入	418	—
投資有価証券の取得による支出	△18	△19
子会社株式の取得による支出	—	△4,771
貸付けによる支出	△80	△85
貸付金の回収による収入	311	32
その他	35	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,456	△5,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,426	4,352
短期借入金の返済による支出	△4,383	△4,535
長期借入れによる収入	200	310
長期借入金の返済による支出	△1,032	△687
少数株主からの払込みによる収入	—	1,500
配当金の支払額	△892	△892
その他	△41	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,724	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	△168	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,098	16
現金及び現金同等物の期首残高	10,484	15,249
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	30
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,583	15,295

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	60,042	5,016	65,059	—	65,059
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	200	205	△205	—
計	60,047	5,217	65,264	△205	65,059
セグメント利益	3,833	2,951	6,784	△1,850	4,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,850百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,848百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	63,670	4,632	68,303	—	68,303
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	202	206	△206	—
計	63,675	4,835	68,510	△206	68,303
セグメント利益	4,223	2,754	6,978	△1,888	5,089

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,888百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,880百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。